



2025年9月期第3四半期 決算補足説明資料

2025年8月8日



エグゼクティブサマリ

想定通り

2025/9期3Qは発生ベースで若干の営業赤字。新增改築案件の売上計上減少がその主因ながら、従来想定の範囲内

注力領域

注力領域である医療情報システム、保守・メンテナンスの売上も伸長。3Q累計で前年通期の売上水準を既にクリア

見通し据置

通期見通しは据置き。ただし、3Qは一部案件の前倒し計上の貢献があったため、4Qは対3Qでは厳しい想定に

トータル パックシステム

新增改築案件の経験的先行指標。医療機関の新增改築に向けて、全体最適ソリューションを包括提供する仕組み



1

2025年9月期3Q決算実績



2025年9月期3Q経営成績①

- 3Q累計では対前年9%増収、営業利益は2倍に増加。主力のメディカルトータルソリューション事業で大規模案件の売上計上集中が貢献。ただし、上期の案件集中一巡後となる3Qは案件数が減少
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業が好調に推移。遠隔画像診断サービス事業も、売上は3Q累計ベースで過去最高を更新。給食事業は横ばいで推移

経営成績の推移

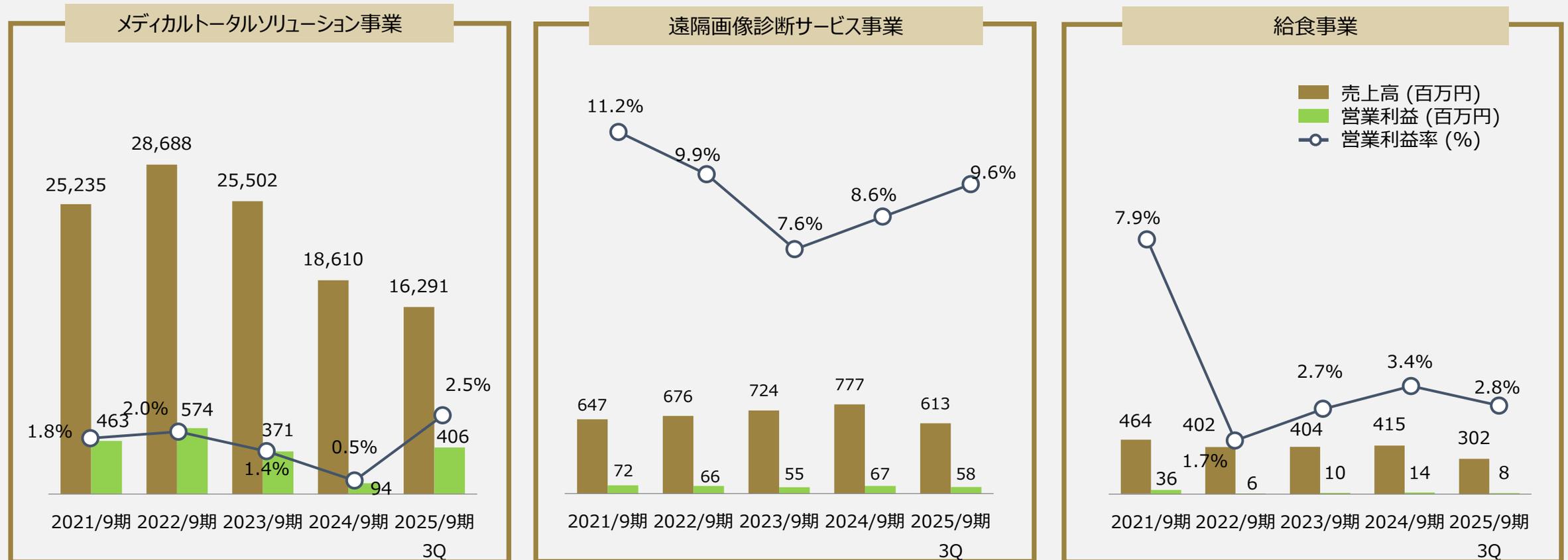
(百万円)	2022/9期 3Q実績	2023/9期 3Q実績	2024/9期 3Q実績	2025/9期3Q		
				実績	前年同期比較	
					差異	増減率
売上高	25,195	16,674	15,713	17,208	+1,494	+9.5%
メディカルトータルソリューション	24,394	15,828	14,823	16,291	+1,468	+9.9%
遠隔画像診断サービス	503	540	572	613	+41	+7.2%
給食	297	305	317	302	▲15	▲4.8%
営業利益	886	337	237	474	+237	2.0倍
メディカルトータルソリューション	822	277	170	406	+235	2.4倍
遠隔画像診断サービス	56	49	51	58	+6	+12.8%
給食	5	8	12	8	▲4	▲33.9%
調整	2	1	1	1	+0	+0.4%
経常利益	940	328	240	492	+251	2.0倍
親会社株主に帰属する当期純利益	625	195	190	317	+127	+67.1%



セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上は大規模案件の貢献もあり、3Q時点で前年通期の水準に肉薄。利益率も上昇
- 遠隔画像診断サービス事業の売上は着実に拡大。委託費単価上昇や人件費増が負担増となるも、利益率も改善傾向で推移
- 給食事業は収益性改善への取組みを続け、上期よりも改善

経営成績の推移





2025年9月期3Q経営成績②

- 3Q発生ベースでは、対前年では大幅増収増益ながら、対2Qでは減収減益。新增改築案件の売上計上減少が影響
- 3Qの粗利率は13.3%と、高水準を維持。採算向上への取組注力により、大規模案件の計上件数にかかわらず、粗利率は一定水準が定着。利益率は案件次第というボラティリティは着実に低下

経営成績の推移

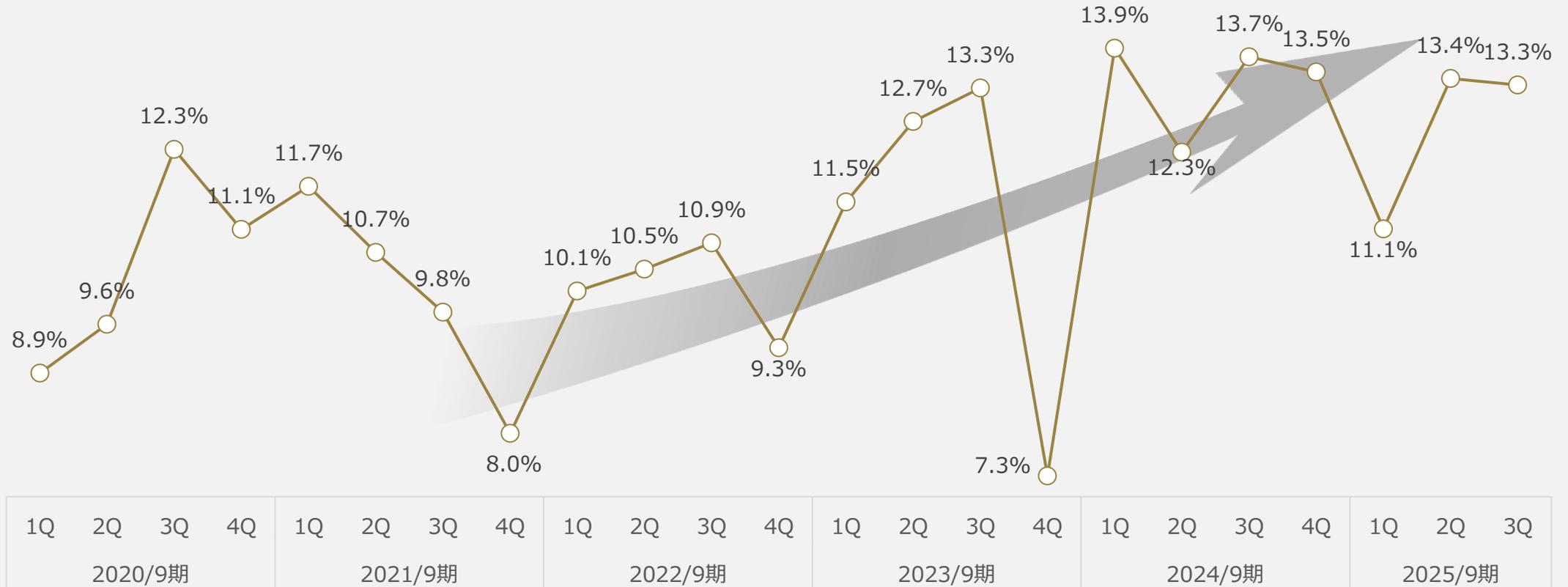
(百万円)	2023/9期				2024/9期				2025/9期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,936	6,725	5,012	9,957	5,414	6,803	3,496	4,090	3,171	9,769	4,267
メディカルトータルソリューション	4,650	6,444	4,733	9,674	5,124	6,509	3,189	3,787	2,871	9,466	3,954
遠隔画像診断サービス	180	181	178	184	186	185	200	205	206	203	204
給食	105	99	100	99	102	108	106	97	93	99	109
営業利益	▲11	274	74	102	135	221	▲120	▲59	▲235	732	▲22
メディカルトータルソリューション	▲34	253	58	94	117	200	▲147	▲76	▲256	709	▲46
遠隔画像診断サービス	20	18	11	6	15	15	21	15	23	18	17
給食	1	2	4	2	2	5	5	1	▲2	4	6
調整	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
粗利率	11.5%	12.7%	13.3%	7.3%	13.9%	12.3%	13.7%	13.5%	11.1%	13.4%	13.3%



粗利益率の推移

- 3Qの粗利益率はほぼ2Qから横ばい。大型の新增改築案件は計上空白期となったが、高水準の粗利率を確保

全社粗利益率の推移





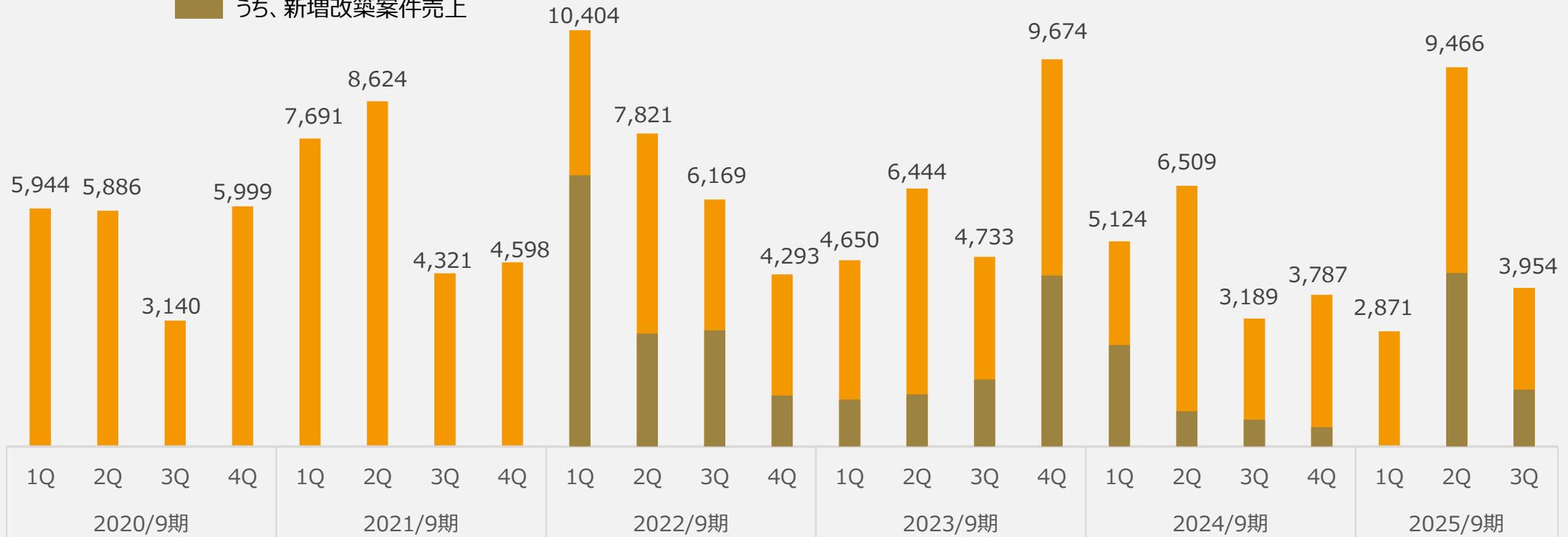
メディカルトータルソリューション事業売上推移

- メディカルトータルソリューション事業の3Q売上は40億円
- 案件の集中した2Qとの比較では大幅減ながら、前年比では増収を確保

メディカルトータルソリューション事業売上推移

(百万円)

■ メディカルトータルソリューション事業売上
■ うち、新增改築案件売上



注) 2021/9期以前の新增改築案件売上は非開示

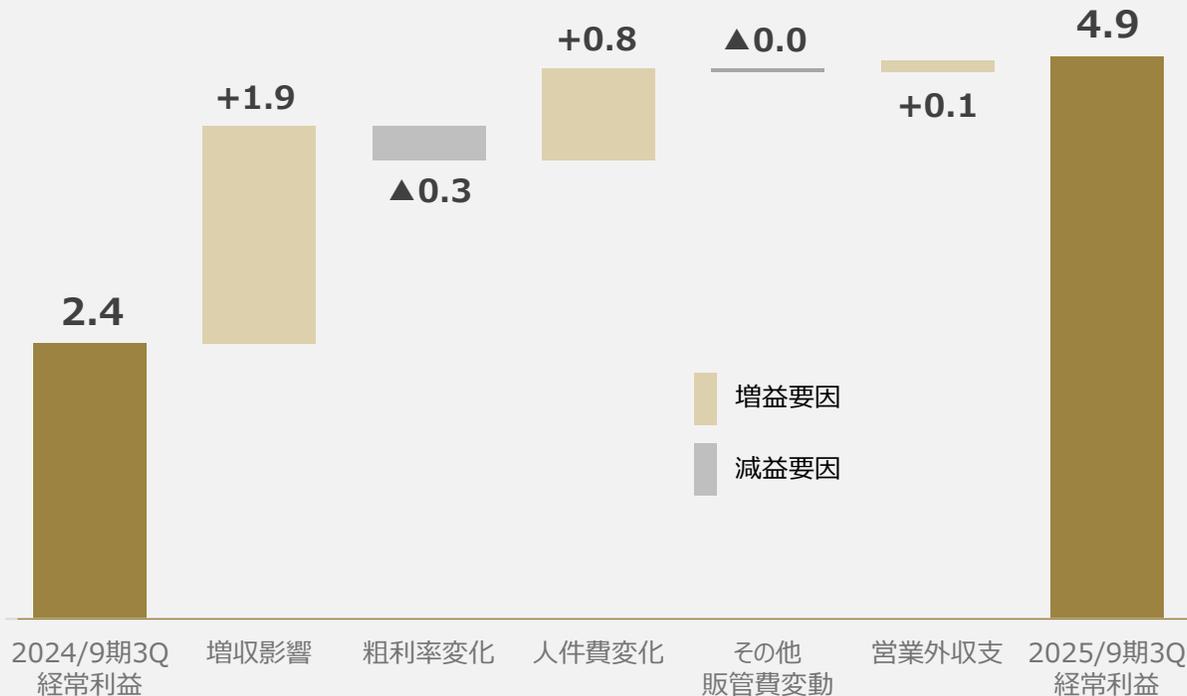


2025年9月期3Q 経常利益増減益要因分析

- 3Q累計の経常利益は対前年比で2.5億円の増加。増益の牽引役は上期までに積上げたメディカルトータルソリューション事業の増収効果。コスト面でも労働生産性改善に伴う人件費の抑制が寄与
- 一方、高水準は維持しているものの、粗利率は前年との比較では0.2ポイント低下。前年にあった高採算大型案件の反動がその主因となるが、増収効果やコスト削減でこの影響を吸収

経常利益増減益分析

(億円)



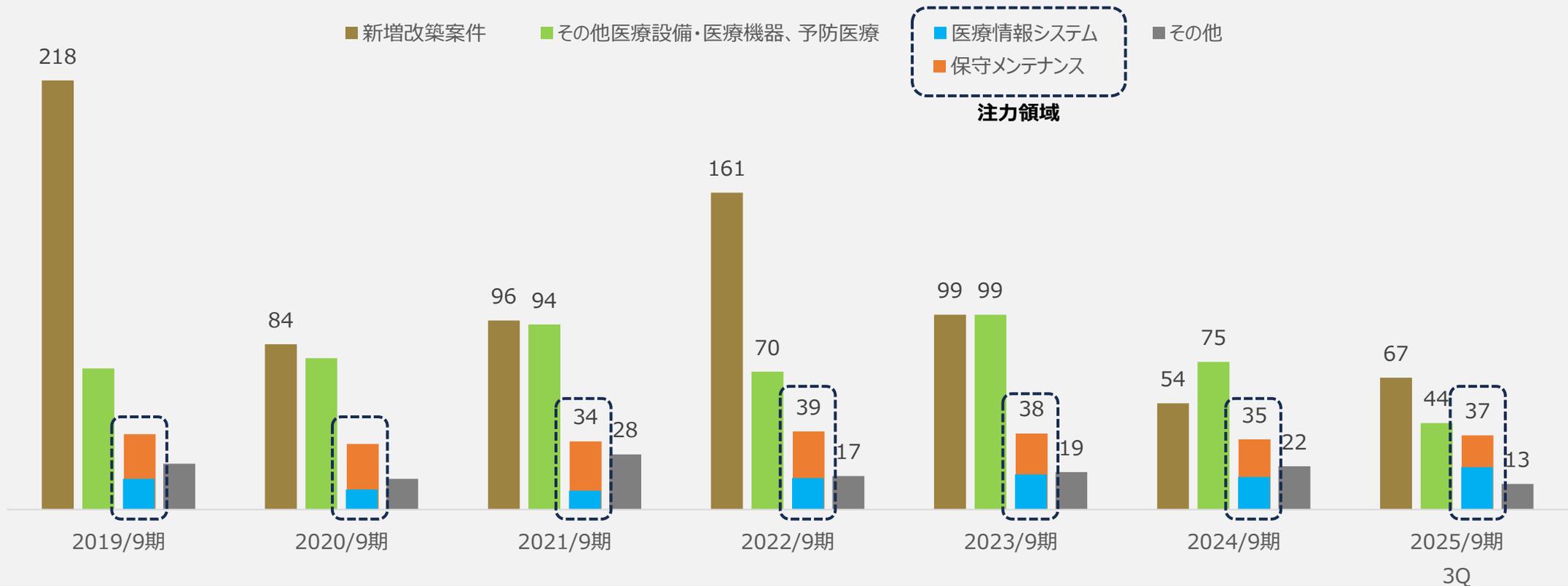
- 増収影響 +1.9億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の売上増が影響
- 粗利率変化 ▲0.3億円
 - ・粗利率は0.2ポイント低下 (13.1%→12.9%)
 - ・採算重視方針に変化はないが、前年にあった高採算大型案件の反動が発現
- 人件費変化 +0.8億円
- その他販管費変動 +0.0億円
 - ・業務委託費他 +0.1億円
- 営業外収支 +0.1億円



メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- 3Q累計のメディカルトータルソリューション事業は、引続き新增改築案件が最大の売上領域
- 注力領域である医療情報システム、保守・メンテナンスも伸長し、前年通期の売上水準を既にクリア

メディカルトータルソリューション事業売上内訳





2025年9月期3Q 貸借対照表

- 総資産は前期末比6%増の113億円。主因は両建てとなっている債権債務の残高増加によるもの。その他で大きな変化はなし
- 3Q末の自己資本比率は51.1%。3Q末時点のネットキャッシュは57億円に増加
- なお、2Q末との比較では総資産が30%（48億円）の減少。これは両建てとなっていた債権債務の解消が進んだことが主因。それに伴い、36.0%に低下していた2Q末の自己資本比率は、3Q末では51.1%に上昇

財政状態の推移

(百万円)	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期 3Q	前期末比差異
流動資産	12,232	13,508	9,583	10,180	+596
現預金	5,480	5,537	5,574	5,739	+165
受取手形・売掛金/契約資産	4,360	7,796	3,821	4,296	+475
棚卸資産	24	21	71	30	▲40
その他	2,368	153	118	113	▲4
貸倒引当金	▲0	▲1	▲1	▲1	+0
固定資産	1,235	1,185	1,076	1,136	+59
総資産	13,468	14,693	10,659	11,316	+656
負債	7,930	8,969	4,918	5,347	+429
買掛金	3,960	7,620	3,417	3,955	+537
有利子負債	92	2	9	7	▲1
その他	3,876	1,347	1,490	1,384	▲106
純資産	5,537	5,724	5,741	5,968	+227
負債純資産合計	13,468	14,693	10,659	11,316	+656



2

2025年9月期決算見通し



2025年9月期業績見通し

- 2025/9期通期見通しは据置き。営業利益は68%増となり、3期ぶりの営業増益を見込む。ただし、上期に売上が集中したため、半期別には上期で通期利益を稼ぎ、下期は案件減少から赤字となる見通し
- なお、3Qは下期では厳しい四半期との想定にあったものの、結果としては一部案件の前倒し計上が貢献。その分、4Qは対3Qでは厳しい想定に。案件積増しを急ぎ、4Q収益の底上げ（＝通期見通しの上振れ）を図る

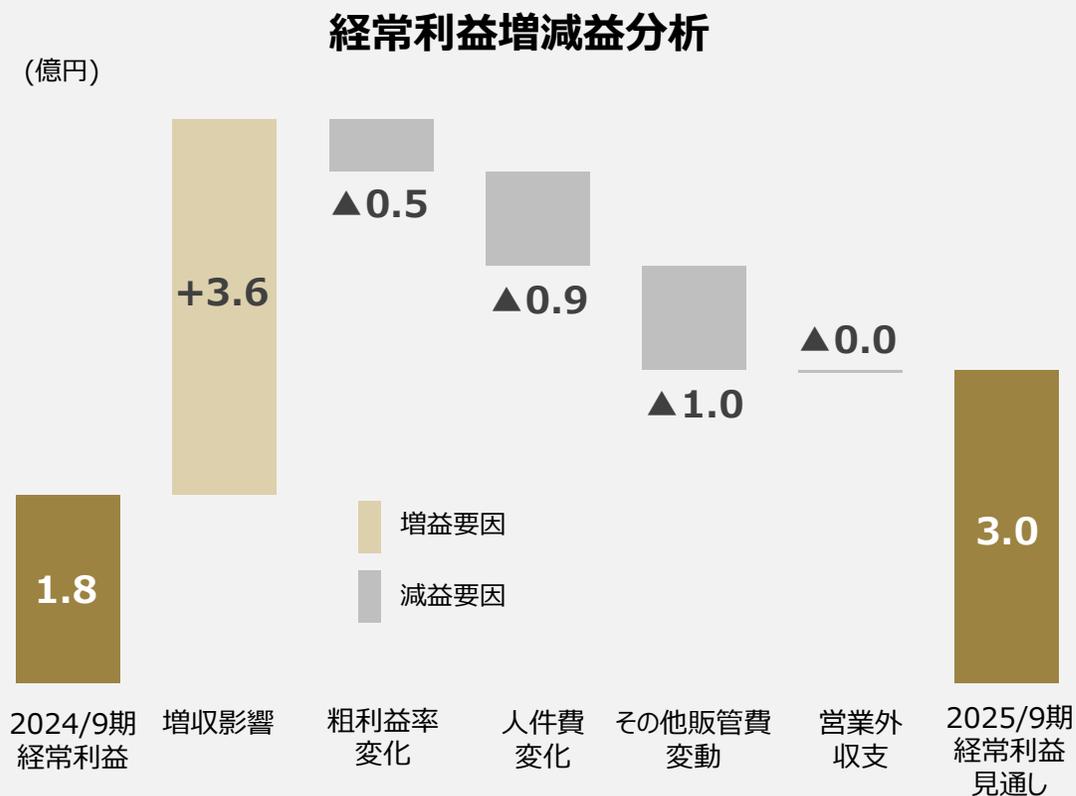
経営成績の推移

(百万円)	2023/9期 実績	2024/9期 実績	2025/9期				前年比 増減率
			上期実績	3Q実績	下期見通し	通期見通し	
売上高	26,632	19,804	12,940	4,267	9,559	22,500	+13.6%
メディカルトータルソリューション	25,502	18,610	12,337	3,954	8,973	21,309	+14.5%
遠隔画像診断サービス	724	777	409	204	372	782	+0.6%
給食	404	415	193	109	215	408	▲1.8%
営業利益	440	178	496	▲22	▲196	300	+68.4%
メディカルトータルソリューション	371	94	452	▲46	▲220	232	+145.6%
遠隔画像診断サービス	55	66	41	17	24	65	▲1.8%
給食	10	14	1	6	▲1	0	▲97.0%
調整	2	2	1	0	2	3	▲34.3%
経常利益	431	181	513	▲21	▲213	300	+65.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	271	136	344	▲26	▲150	194	+17.6%



2025年9月期想定増減益分析

- 想定増減益要因分析も従来想定を継続。増収効果が増益を牽引し、人件費増やその他コスト上昇などを吸収する見通し
- 想定粗利率は13.0%。3Q累計ベースでは12.9%と想定範囲内。現時点で粗利率低下要因も見当たらず
- ただし、人件費は3Q累計段階で前年比マイナスで推移しており、これは通期でも利益上振れ要因に転じる見込み



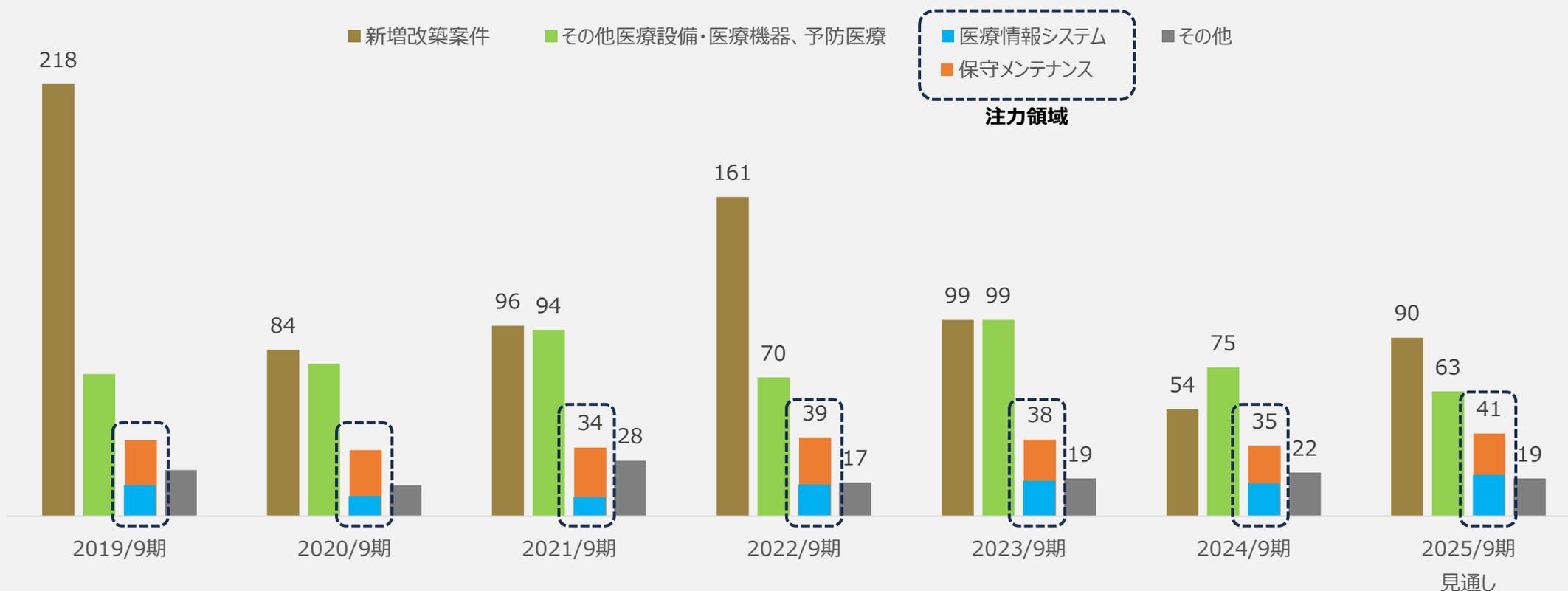
- 増収影響 +3.6億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の増加
 - ・大型案件増により一件当たり単価上昇を想定
- 粗利率変化 ▲0.5億円
 - ・粗利率は0.1pt低下を想定 (13.1%→13.0%)
- 人件費変化 ▲0.9億円
- その他販管費変動 ▲1.0億円
- 営業外収支 ▲0.0億円



メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- **メディカルトータルソリューション事業の売上内訳想定も従来想定据置き。新增改築案件の売上貢献が最大となる見通し**
- **注力領域である医療情報システム、保守・メンテナンスについては、一括保守の拡販や修理機能拡充など成長に向けての布石を継続。この領域の売上は、注力効果発現により、売上は過去最高更新の見込み**

メディカルトータルソリューション事業売上内訳



新增改築案件 予想前提

- 2025/9期の新增改築案件の売上想定に変更なし。年間で90億円を想定し、前期比66%増収となる見通し
- うち、3Qまでで新增改築案件売上は年間想定の74%を消化。期初計画の進捗は順調

メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

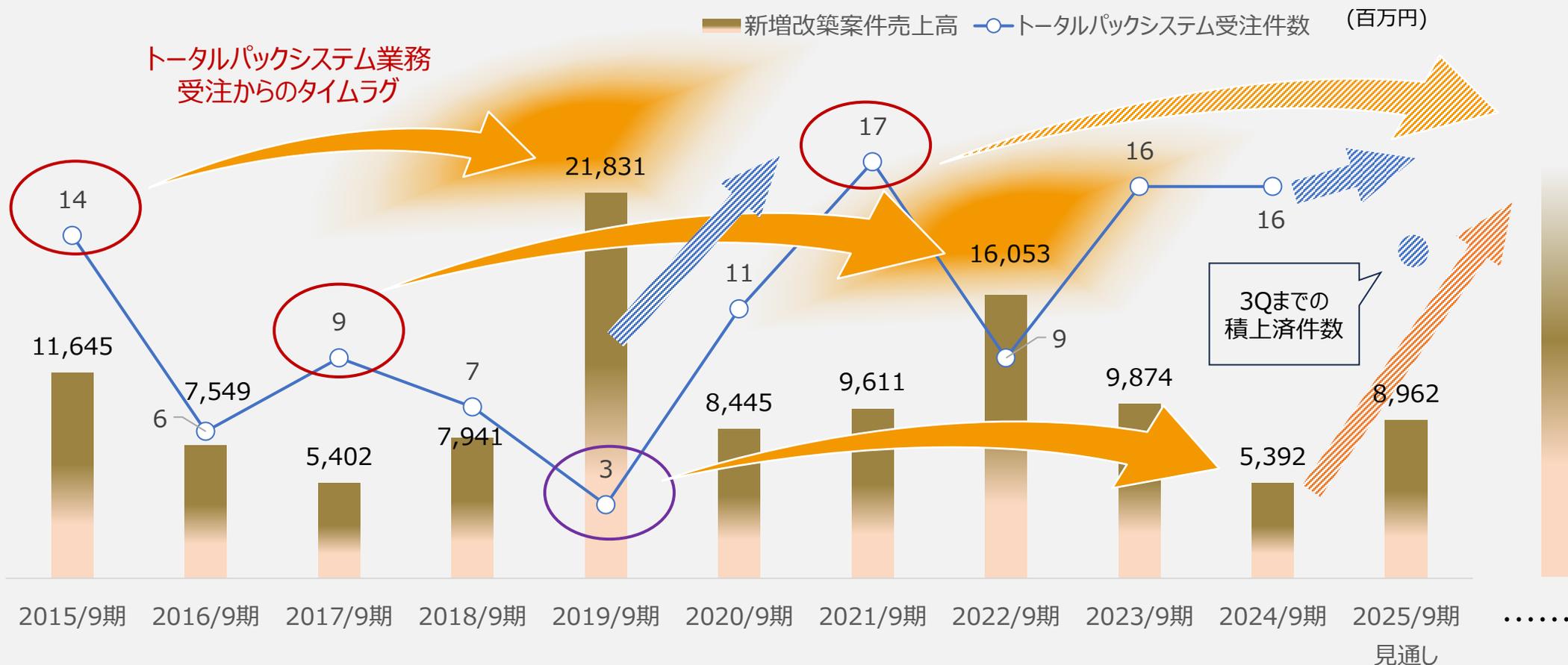
(百万円)		2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期		前期対比
					3Q実績	通期見通し	
20億円以上	売上高	9,877	2,296	2,942	3,768	6,080	+3,137
	件数	3	1	1	1	2	+1
	平均単価	3,292	2,296	2,942	3,768	3,040	+97
10億円以上	売上高	3,995	3,594	-	0	-	-
	件数	3	3	-	0	-	-
	平均単価	1,332	1,198	-	-	-	-
10億円未満	売上高	2,180	3,984	2,449	2,974	2,882	+433
	件数	6	13	10	11	11	+1
	平均単価	363	306	244	270	262	+17
合計	売上高	16,054	9,874	5,392	6,742	8,962	+3,570
	件数	12	17	11	12	13	+2
	平均単価	1,338	580	490	561	689	+199
事業売上に占める一括販売比率		56.0%	38.7%	29.0%	41.4%	42.1%	+13.1pt



新增改築案件の先行指標

- トータルパックシステム受注は数期のタイムラグを経て新增改築案件売上に反映される傾向。この経験則によれば、2020/9期より受注件数が増加に転じており、新增改築案件の売上も2025/9期以降は再拡大局面を迎えるとの見方が可能。
- 3Q累計のトータルパックシステム受注件数は13件。積み上がりは順調であり、将来の新增改築案件の売上貢献に期待

メディカルトータルソリューション事業新增改築案件売上とトータルパックシステム受注件数との関係



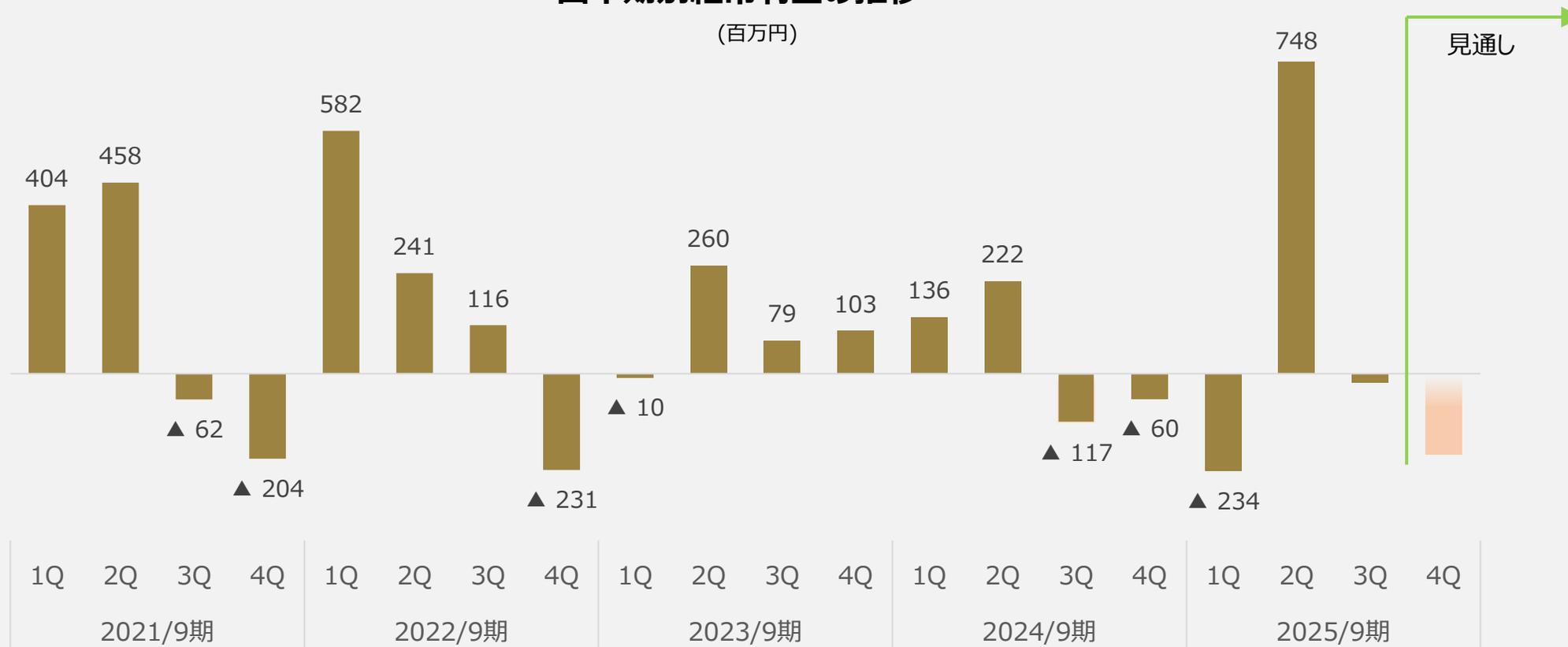


2025年9月期四半期別経常利益想定

- 2025/9期下期は再び厳しい局面に。2Qが最も利益寄与の大きな四半期となる見通し
- 下期を3Qと4Qで分けて考えると、売上端境期となる3Qがより厳しいと想定

四半期別経常利益の推移

(百万円)



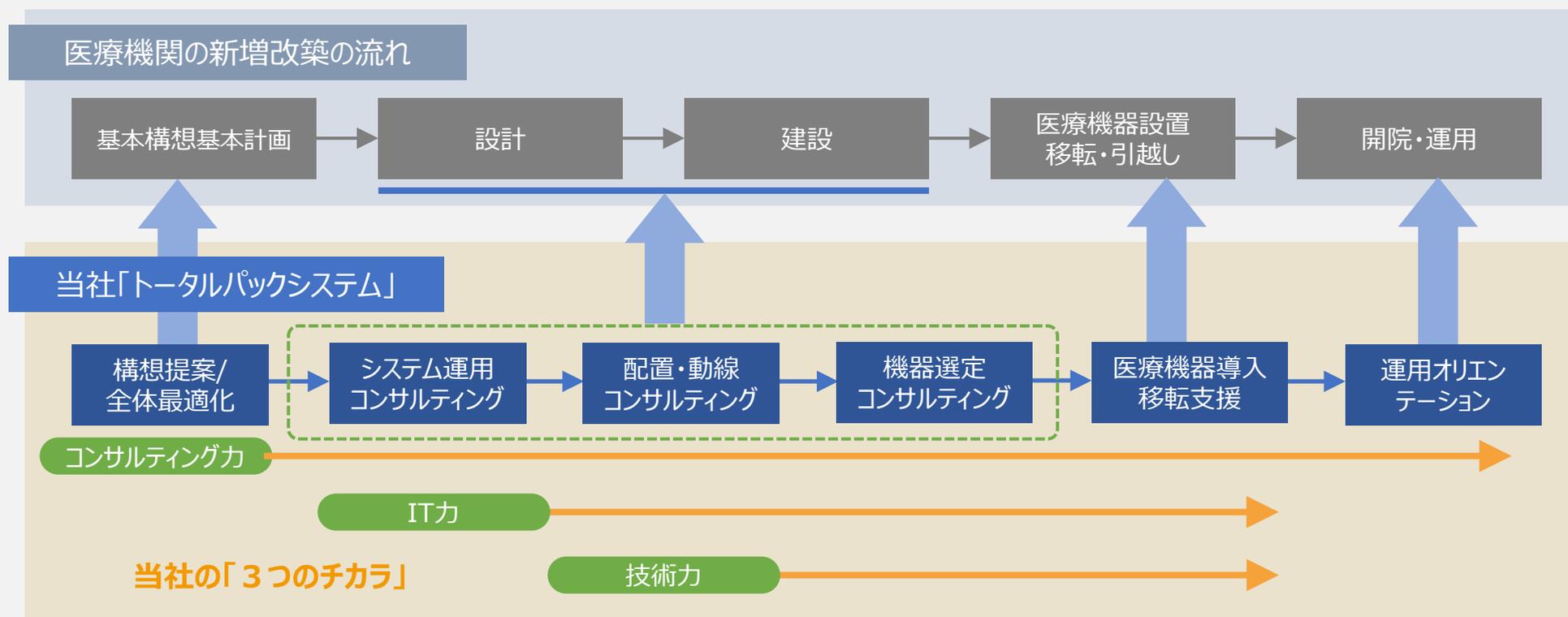


3

トピックス

トピックス1：トータルパックシステム概要

- トータルパックシステムは新增改築案件売上の経験的な先行指標となるもの。これは医療機関の新增改築に向けて、設計の技術支援・機器からシステム等選定・導入・運用まで全体最適ソリューションを包括提供する仕組みであるため
- 具体的には、医療機関の高度化・先進化に際し、施設新增改築時に構想段階から開院までコンサルティングとして関与
- 包括提供に向けては、当社の3つのチカラ（コンサルティング力、IT力、技術力）が貢献

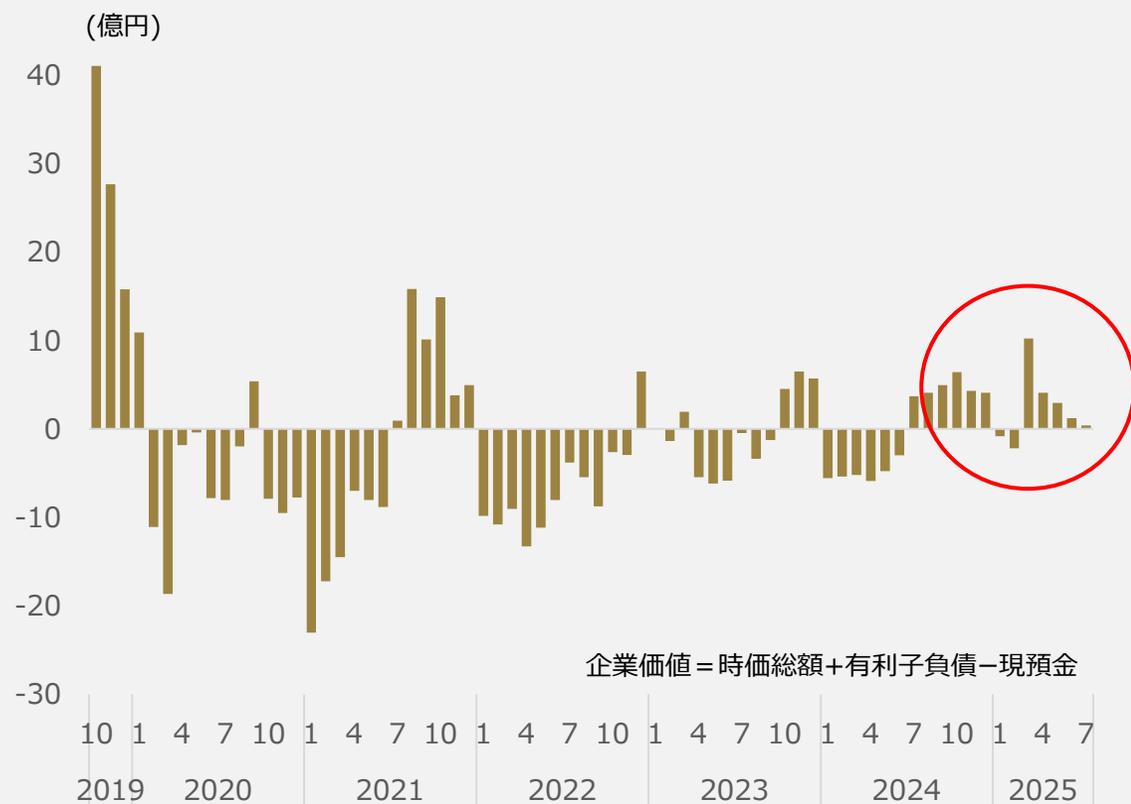




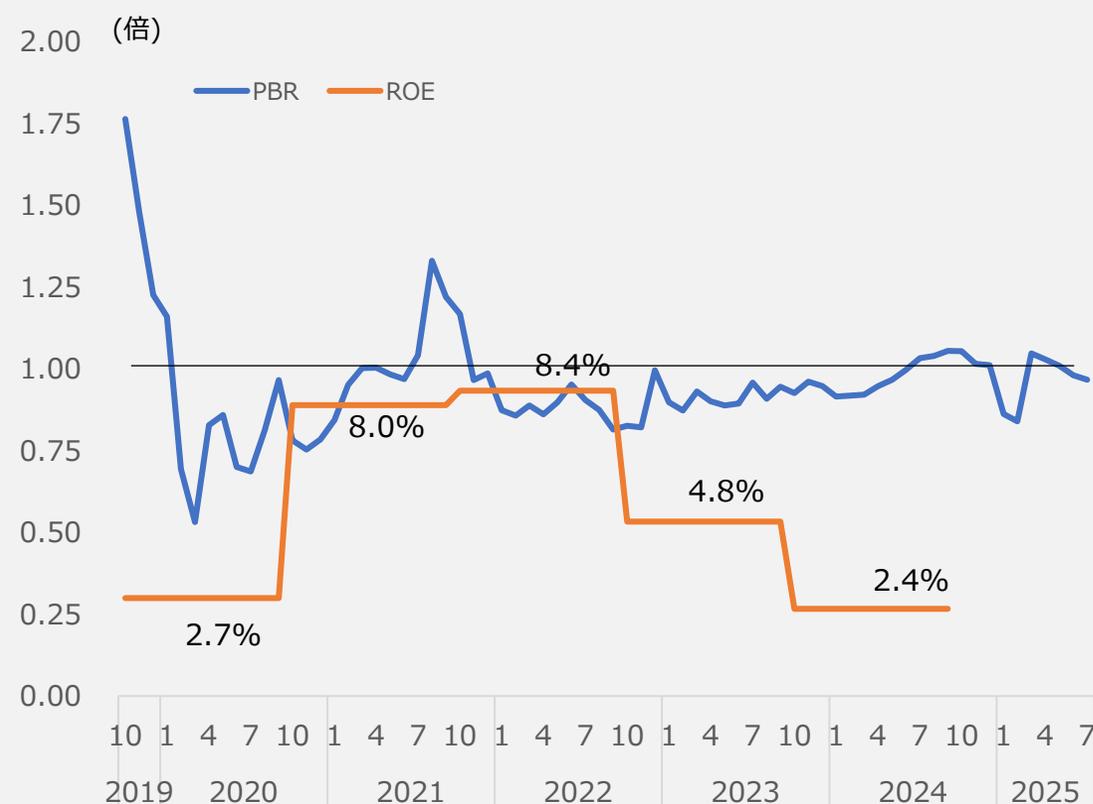
トピックス2：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

- 企業価値は黒字基調ながら、直近は漸減傾向。企業価値の拡大に向け、積極的な成長投資アクションを継続
- PBRも直近は上値の重い展開に。ROE改善に向けて有形無形の資産活用を急ぐ

企業価値の推移



PBRとROEの推移





業績・財務ハイライト

決算年月		2020年9月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期 3Q
売上高	(千円)	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	19,804,248	17,208,255
経常利益	(千円)	207,244	595,939	709,660	431,662	181,146	492,710
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	120,839	390,983	437,051	271,306	136,057	317,682
包括利益	(千円)	141,111	427,266	462,709	294,367	112,733	328,048
資本金	(千円)	536,169	539,369	539,369	539,369	542,869	544,782
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,967,800	5,914,800
純資産額	(千円)	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,741,300	5,968,771
総資産額	(千円)	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	10,659,647	11,316,158
1株当たり純資産額*	(円)	802.93	855.78	915.42	946.33	943.51	978.40
1株当たり配当額	(円)	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	-
1株当たり当期純利益*	(円)	20.84	66.64	74.30	46.12	23.09	53.79
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益*	(円)	20.62	66.11	73.84	45.84	22.96	53.57
自己資本比率	(%)	35.1	38.8	40.0	37.9	52.3	51.1
自己資本利益率	(%)	2.7	8.0	8.4	4.8	2.4	5.6
配当性向	(%)	72.0	20.0	22.4	36.1	72.2	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	33,083	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	100,752	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	▲97,225	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	5,554,031	5,719,795
従業員数	(人)	157	162	175	176	170	159
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(54)	(58)	(62)	(62)	(62)	(55)

*2024年10月1日付株式分割(1:3)の影響考慮後



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
経営企画室 IR担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp